



令和 8 年 3 月 30 日

中部地方整備局 浜松河川国道事務所

スズキ(株)

道路の脱炭素化の取り組みを始めます！

～道路インフラ×電池リユース活用～

浜松河川国道事務所とスズキ(株)は、使用済み車載電池をリユースしたソーラー照明柱およびソーラーサインージ等の活用可能性を共同で検討する「道路インフラ×電池リユース活用に関する検討ワーキンググループ(以下、検討WG)」を設置します。

1. 取り組みの概要

<背景・狙い>

- ・道路分野において、道路インフラの脱炭素・防災強化・維持管理効率化が必要となっています。
- ・一方、自動車分野では電動化の進展に伴い、使用済み電池の再利用の検討が必要となります。
- ・役割を終えた電池が地域を支える力となるべく、道路インフラへ活用し、循環型社会の実現と持続可能な道路管理を目指します。

<検討WGの検討項目>

- ・技術適用性の確認
- ・現場での実証実験
- ・効果の検証

<スケジュール(予定)>

- ・令和8年度:検討、現場実証

2. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、静岡県政記者クラブ、浜松市政記者クラブ、

3. 問い合わせ先 国土交通省中部地方整備局 浜松河川国道事務所

副所長 やまもと しんいち 山本 進一 計画課長 いけだ じゅんいちろう 池田 順一郎

TEL: 053-466-0117

スズキ(株) 渉外広報本部 広報部 国内広報課

TEL: 053-440-2030

2050年、世界一、賢く・安全で・持続可能な基盤ネットワークシステムの実現を目指す

World-class Infrastructure with 3S(Smart, Safe, Sustainable) Empowered NETWORK



道路の異状を発見したら…道路緊急ダイヤル **#9910** (通話料無料・24時間受付)

LINEからの
#9910は
コチラ▶

